

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
【発行日】令和 6 年 7 月 26 日(2024.7.26)

【公開番号】特開 2021-170106(P2021-170106A)  
【公開日】令和 3 年 10 月 28 日(2021.10.28)  
【年通号数】公開・登録公報 2021-052  
【出願番号】特願 2021-44184(P2021-44184)  
【国際特許分類】

G 0 3 G 2 1 / 0 0 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

10

G 0 3 G 2 1 / 1 2 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

【 F I 】

G 0 3 G 2 1 / 0 0 3 7 0

G 0 3 G 2 1 / 1 2

G 0 3 G 2 1 / 0 0 5 1 2

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 7 月 17 日(2024.7.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

トナー像を形成する画像形成部と、

前記画像形成部が内部に設けられた装置本体と、

前記装置本体内部に設けられた第 1 回収容器であって、第 1 装着部に取り外し可能に装着可能であり、前記画像形成部から排出された残トナーを回収する第 1 回収容器と、

前記装置本体内部に設けられた第 2 回収容器であって、第 2 装着部に取り外し可能に装着可能であり、前記画像形成部から排出された残トナーを回収する第 2 回収容器と、

30

前記装置本体内部に設けられ、前記画像形成部から排出されたトナーを前記第 1 回収容器及び前記第 2 回収容器に搬送する搬送装置と、

前記装置本体に設けられ、前記搬送装置を制御する制御部と、

を有する画像形成装置であって、

前記制御部は、画像形成中に前記搬送装置が前記第 1 回収容器にトナーを搬送しているときに前記第 1 回収容器が満杯になった場合に、トナーの搬送先を前記第 1 回収容器から前記第 2 回収容器に切り替えるように前記搬送装置を制御するように構成されるとともに、画像形成動作を継続するように前記画像形成部を制御するように構成され、

交換されるべき回収容器の位置をユーザに示すために設けられた第 1 識別マークであって、前記第 1 装着部に対応する位置に設けられた第 1 識別マークと、

40

交換されるべき回収容器の位置をユーザに示すために設けられた第 2 識別マークであって、前記第 2 装着部に対応する位置に設けられた第 2 識別マークと、

前記装置本体に設けられ、ユーザにより交換されるべき回収容器の位置に関する情報を表示する表示部と、

前記第 1 識別マーク及び前記第 2 識別マークを露出させる開位置に開けることが可能であるとともに、前記第 1 識別マーク及び前記第 2 識別マークを露出させない閉位置に閉じることが可能なカバー部材と、

を有し、

前記制御部は、前記第 1 回収容器と前記第 2 回収容器とのいずれか一方が交換されるべき

50

場合に、前記閉位置にある前記カバー部材内の前記第 1 識別マーク又は前記第 2 の識別マークを用いて、前記交換されるべき回収容器の位置を表示するように構成されていることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

前記第 1 装着部及び前記第 2 装着部を開閉する共通の扉を更に有し、

前記第 1 識別マーク及び前記第 2 識別マークは、前記扉の内側の面に設けられていることを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 3】

前記共通の扉は、該扉の下部で上下方向に交差する幅方向に沿って配置された回転軸線を中心として回動可能に構成されていることを特徴とする請求項 2 に記載の画像形成装置。

【請求項 4】

前記共通の扉は、前記装置本体の下部に設けられていることを特徴とする請求項 3 に記載の画像形成装置。

【請求項 5】

前記第 1 識別マーク及び前記第 2 識別マークは、文字であることを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 6】

前記第 1 識別マーク及び前記第 2 識別マークは、交換されるべき回収容器の位置を示す数字であることを示す請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 7】

前記第 1 回収容器は、前記第 2 装着部に取り外し可能に装着可能であり、前記第 2 回収容器は、前記第 1 装着部に取り外し可能に装着可能であることを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 8】

前記第 1 識別マーク及び前記第 2 識別マークは、前記第 1 装着部及び前記第 2 装着部が設けられた側壁に設けられていることを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記目的は本発明に係る画像形成装置にて達成される。要約すれば、本発明は、トナー像を形成する画像形成部と、前記画像形成部が内部に設けられた装置本体と、前記装置本体内部に設けられた第 1 回収容器であって、第 1 装着部に取り外し可能に装着可能であり、前記画像形成部から排出された残トナーを回収する第 1 回収容器と、前記装置本体内部に設けられた第 2 回収容器であって、第 2 装着部に取り外し可能に装着可能であり、前記画像形成部から排出された残トナーを回収する第 2 回収容器と、前記装置本体内部に設けられ、前記画像形成部から排出されたトナーを前記第 1 回収容器及び前記第 2 回収容器に搬送する搬送装置と、前記装置本体に設けられ、前記搬送装置を制御する制御部と、を有する画像形成装置であって、前記制御部は、画像形成中に前記搬送装置が前記第 1 回収容器にトナーを搬送しているときに前記第 1 回収容器が満杯になった場合に、トナーの搬送先を前記第 1 回収容器から前記第 2 回収容器に切り替えるように前記搬送装置を制御するように構成されるとともに、画像形成動作を継続するように前記画像形成部を制御するように構成され、交換されるべき回収容器の位置をユーザに示すために設けられた第 1 識別マークであって、前記第 1 装着部に対応する位置に設けられた第 1 識別マークと、交換されるべき回収容器の位置をユーザに示すために設けられた第 2 識別マークであって、前記第 2 装着部に対応する位置に設けられた第 2 識別マークと、前記装置本体に設けられ、ユーザにより交換されるべき回収容器の位置に関する情報を表示する表示部と、前記第 1 識別マーク及び前記第 2 識別マークを露出させる開位置に開けることが可能であるとともに、前記

10

20

30

40

50

第 1 識別マーク及び前記第 2 識別マークを露出させない閉位置に閉じることが可能なカバー部材と、を有し、前記制御部は、前記第 1 回収容器と前記第 2 回収容器とのいずれか一方が交換されるべき場合に、前記閉位置にある前記カバー部材内の前記第 1 識別マーク又は前記第 2 の識別マークを用いて、前記交換されるべき回収容器の位置を表示するように構成されていることを特徴とする画像形成装置である。

10

20

30

40

50